

874 中央大学学友会秋季陸上大運動会

〔『法学新報』第35卷12(407)号 大正14年12月1日〕

○中央大学学友会秋季陸上大運動会 中央大学学友会秋季陸上大運動会は去る十月二十五日(日曜) 本学中野グラウンドに於て挙行せられたり当日は昨日来降雨を気つかはれしに拘らす馬場(鎧一) 佐藤両理事花井博士以下教授職員学生五千有余名来場観衆万人を超ゆ数発の花煙を合図に競技は開始せられたるか幸にも競技の進行に連れて天気も全く回復し絶好の運動日和となり観衆は益益増加し十重二十重と押寄せさしも広き場内も立錫の余地なきに至り頗る盛会を極む堀、出羽、大松、高島諸氏を始め学友会体育後援会の委員掛員の努力に依り順序良く著々と進行し正午休憩となるや各科応援団の入場式あり次て余興として各科仮装行列あり孰れも人の意表に出て拍手喝采を得たり中等学校選手競争には学習院大学専門学校選手競争には慶応義塾孰れも優勝旗を得たり次て全校五千学生の血を沸したる対科リレーは復々商科の手に月桂冠は握らる時に五時馬場理事の挨拶あり中央大学の万歳を三唱して盛会裡に首尾能く終了を告げたり